

月刊 やちまなこ

2020. 3.15 発行

No.268

3月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

3月に入り、まとまった雪が降り、吹き溜まりは腰まで埋まるほどにもなった。この月の雪は水分を多く含み、まるで鉄や鉛のようなずっしりとした重さで、除雪後の疲れは年齢に比例して（個人差があるが）、じわりじわりと後から痛みとともに現れてくるようだ。「今年は雪が少ないね」などと巷では言っているのを天の神様は聞いていたのか・・・？そして先日の大雨、川から溢れた水は湿原へ流れ、まるで昔の海を再現するような景観を見せた。冷たい風の下、春の訪れを告げるように雪の間からフクジュソウが姿を見せ始めた。



塘路フィールドノート【2/15～3/14】

【野鳥】

渡りの季節が訪れ、塘路湖上空を飛ぶ野鳥の姿をよく見かけるようになりました。一方、解氷が始まった湖面に目を移すと、先日の大雨で水位が上がった影響からか、例年に比べて水鳥の姿が少なく、やや寂しい早春となっています。



(オオ)ヒシクイ (コッタロ湿原)
今年の初確認は2月22日。昨年より3日早く、過去記録でもNo.1クラスの早さでした



アオサギ (エオルト沼)
沼の上空を旋回中。まだ湖畔にあるコロニーには入らず、沼の畔で羽を休めています



オオハクチョウ (塘路湖)
氷上で寝ていた群れ。突然、一斉に起き上がり、同じ方向を向いて整列しました



タンチョウ (塘路湖畔)
塘路湖の西側を通過していった2羽の成鳥。繁殖地へと向かうつがいかもしれません



カワアイサ (塘路湖畔)
湖上を南へ向かって飛んでいった3羽の♂。解氷が進んできた湖面でも時々見られます



カンムリカイツブリ (塘路湖)
昨秋以来の確認。一時姿を消していましたが、湖面の解氷に合わせて戻ってきました

◎春の便りが届き始めました

3月も中旬を迎え、塘路湖周辺に春の便りが続々と届き始めています。今年の冬は例年になく穏やかだった影響からか、植物たちの生育が例年より早く、サルボ展望台下の斜面ではもうすぐキタミフクジュソウとフキノトウが見頃を迎えそうです。塘路湖畔でも昨年より4日早くキタミフクジュソウが咲き出すなど、春の息吹を間近に感じる今日この頃です。

上段左：キタミフクジュソウ

上段右：フキノトウ

下段左：ネコヤナギ

下段右：フッキソウ



◎春の嵐が襲来

3月10日、猛烈な暴風雨に見舞われた釧路地方。塘路地区では降り始めからの総雨量が77ミリにも達する記録的な大雨となりました。さらに大雨に加えて、前週にどっさり降った雪が一気に解け、湖畔はいたるところで冠水状態に…。現在(3/15)は道路の水は引いたものの、塘路湖の水位は依然として高く、周辺の湿原域にもまだ大量の水があふれています。水が完全に引いて平常時に戻るまでにはまだしばらく時間がかかりそうです。



【臨時休館のお知らせ】

新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、塘路湖エコミュージアムセンターは**3月5日(木)～3月24日(火)までの期間、臨時休館**とさせていただきます。なお、塘路湖畔歩道およびフィトンチッドの森遊歩道は通常どおりご利用いただけます。(一部積雪あり)

◇大雨による影響で、コッタロ湿原を通る道道1060号線が通行止めとなっています。また、サルボ・サルルン展望台の駐車場も現在ご利用いただくことができません。

【イベントの中止について】

◇3月7日に予定されていた「塘路フィールドウォッチング」は新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、中止とさせていただきます。

【通行規制等の情報(3/15現在)】

4月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

早春の湿原 野鳥観察会 (中止の場合あり)

[日 時] 4月18日(土) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] シラルトロ湖・蝶の森周辺 (集合はシラルトロ自然情報館駐車場)

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

春の足音を聴きに行こう (中止の場合あり)

[日 時] 4月12日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで

(0154-65-2323)

令和2年度 自然ふれあい行事予定表

<p>●早春の湿原 野鳥観察会 4月18日(土) 10時～12時 定員15名 早春の釧路湿原に生息する野鳥を散策しながら観察します。</p>	<p>●晩秋の湿原 野鳥観察会 10月24日(土) 10時～12時 定員15名 越冬のため釧路湿原に渡ってきた野鳥を散策しながら観察します。</p>
<p>●春の湿原 野鳥観察会 5月4日(祝) 10時～12時 定員15名 繁殖のため釧路湿原に渡ってきた野鳥を散策しながら観察します。</p>	<p>●初冬のキノコ講座 11月7日(土) 10時～12時 定員15名 夏と秋の観察会で見られたキノコについて講師が解説する座学講座です。(当回だけの参加も可)</p>
<p>●新緑の湿原 野鳥観察会 6月6日(土) 10時～12時 定員15名 新緑が目立ち始めたフィールドを散策しながら、野鳥観察をします。</p>	<p>●クリスマスリースを作ろう 11月21日(土) 13時～15時 定員10名 松ぼっくりや木の実などの自然の素材を使ってリースを作ります。</p>
<p>●縄文土器作り講座 7月4日(土) 10時～14時 定員15名 縄文時代の遺跡が残る塘路、当時の土器を参考にオリジナル土器を作ります。</p>	<p>●塘路フィールドウォッチング～初冬編～ 12月5日(土) 10時～12時 定員15名 結氷し始めた塘路湖畔を散策し、オオワシ・オジロワシ等の野鳥や植物の冬の姿などを観察します。</p>
<p>●バードカービング展 7月19日(日)～8月10日(祝) 10時～17時 令和元年度自然ふれあい行事「バードカービング講座」の参加者と講師の作品展です。</p>	<p>●連凧を作って揚げよう 1月16日(土) 10時～12時 定員15名 自作の凧に干支文字やイラスト等を描いて、新年を迎えた湿原の空に揚げてみましょう。</p>
<p>●夏休み 釧路湿原キノコ観察会 8月1日(土) 10時～12時 定員15名 森の中を散策しながら、夏に見られるキノコを観察します。親子や大人を対象にした観察会。</p>	<p>●釧路湿原フィールドウォッチング 2月6日(土) 10時～12時 定員10名 雪のフィールドを散策しながら釧路湿原の自然や遺跡を観察します。スノーシュー使用。</p>
<p>●釧路湿原 自然と歴史を訪ねて 8月8日(土) 10時～12時 定員10名 シラルトロ湖畔と蝶の森周辺を散策しながら、釧路湿原の自然や遺跡を観察します。</p>	<p>●紙粘土フィギュアを作ろう 2月13日(土) 10時～12時 定員10名 紙粘土を使って釧路湿原に生息するいきものを模ったフィギュアを作ります。</p>
<p>●秋のキノコ観察会 9月5日(土) 10時～12時 定員15名 森の中を散策しながら、秋に見られるキノコを観察します。親子や大人を対象にした観察会。</p>	<p>●塘路フィールドウォッチング～晩冬編～ 3月6日(土) 10時～12時 定員10名 雪のフィールドを散策しながら塘路の自然や遺跡などを観察します。スノーシュー使用。</p>
<p>●ムックリ(口琴)を作ろう 10月17日(土) 13時～15時 アイヌ人が使っていた楽器ムックリを作って、その音色を楽しみましょう。</p>	<p>※事前の申し込みが必要です。 (バードカービング展を除く) ※申込み先：<u>塘路湖エコミュージアムセンター</u> ※定員に達し次第締切りとなります。</p>

◆日出・日入時間 2/15(6:20,16:52). 2/29(5:59,17:11). 3/14(5:35,17:28)

～編集後記～

■ようやく北国にも春の兆しを感じ始めた途端、新型コロナウイルスが世界中に広がり、猛威を振るう中、センターも今月24日まで感染拡大防止のため、休館となりました。静まり返った施設から窓越しに見える塘路湖は既にワカサギ釣りが終了し、眩い光を受け、岸辺から徐々に解け始めています。この猛威、本格的な春を迎えるまでには終息してほしいと願うばかりです。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野
TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004
E-mail: emc@hokkai.or.jp

インスタグラム  torokoemc

開館時間: 10:00～16:00 (臨時休館中)
(4～10月: 17:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日
入館無料